

請 願

愛知県教育委員会 飯田教育長様

2025年2月4日

請願人 行政を考える住民の会

事務局 宮崎邦彦

連絡先 〒



各学校の PTA 予算の公費化、および P T A の予算と活動の軽量、軽減化のための取り組みをもとめる請願

請願の理由趣旨

- 1 『広沢市長「改めることがあったら改めて」名古屋市が P T A について保護者にアンケート調査実施の方針

名古屋市は 2025 年度、小中学校などの P T A について保護者へのアンケート調査を行い、活動に強制感がないかなどを調べる方針固めた。

市は 2025 年度、名古屋市立の小中学校などの保護者を対象にアンケートを行い、P T A に対する意見や加入の状況、活動の実態を調べる方針です。

こうした調査は全国的にも珍しく、東海テレビの取材で明らかになった。

広沢名古屋市長：

「以前のように強制的加入であったとか、役職に無理やりつかせるとか、くじ引きでとか、そういうものはずいぶん減っていると思いますが。もし改めるべきところがあったら、改めていただけるようお願いをしていく」（資料 1 東海テレビフォロー 2025 年 1 月 17 日プリント）』

とある。

- 調査以前に、各 P T A の役員である、校長、教頭等は、現在の P T A について、P T A 活動等および、予算の軽減軽量について、提言できる立場にある。

- 忙しい時期ではあるが、名古屋市長の明言したアンケート調査同様、県においても、当事者が、出来ることを示すということをもとめるものである。

少なくとも県教委において、中高一貫校の入学式前には、現状改善をということで、今回の請願に至った。

- 2 2025 年 1 月 13 日～1 月 16 日朝日新聞で 変わる P T A が連載されました。（資料 2、3、4、5） 見出しを記載する

「もう解散せえへん？」（資料 2）

会費ゼロ 役員なしで 脱・しんどい（資料 3）

「一緒にやらへん？」 「主語は子ども」を忘れずに 無理なく柔軟に活動（資料 4）

負担減らし「応援団」楽しむ 脱アナログ業務 運動会の警備 外注で楽に（資料 5） 注 P T A の役員代行出席もあるとの報道も記憶する。

増える事務作業（現状が大変であること）。役員すら担える人がいない。強制的くじ引きするなどして決めていた。PTAの未来が見えない（資料2）。とある。

解散しても、「へえ〜」という感じ。保護者がそこまでPTA活動に関心がないことを痛感した。（資料3）

- 3 PTA ちょうどよいかたちは（資料6）ということは、現状はちょうどよくないということである。改善の必要があるということである。

原則会費はなく、会員も非会員もなく、やりたいことをやりたい人がやる仕組みです（資料6）。ということになるということです。

教育行政と学校が、PTAについて、どのような期待を持っているのかも含め、考え等を、明確にすることが求められるということである。

PTAの現状について、（事務局ではなく）教育委員会（各委員）として、どのよ

うに考えているのか、どのようにしていきたいのかの考えをお聞かせ願いたい。

請 願 事 項

- 1 各学校の校長（校長会も含む）に、PTA問題、および改善点について考え、対応を明確にさせること。（当事者が、黙していることは許されない）

事務長等は、職務として、PTA会計を行っているとは県教委事務局からは聞く。

（PTA役員の校長、教頭も、職務として行っているに含まれると理解する）

- 2 各学校の校長、教頭に、自校のPTAの問題点、改善点について、明確にさせること。（実際の、問題点等を、把握できる立場の意見が求められる）

- 3 PTA会計に組み込まれている、学校が補助されているお金や、部活動費等にかかる予算について、明確にして、必要なものについては、公費負担にすること。

- 4 PTA活動について、PTA組織（団体）と、役員選出、加入や、予算、会費等及び活動について、軽量軽減に向けての取り組みを明確にすること。

（PTAと、行政、学校が、ともに取り組むことが必要であるということでもある。）

添付資料 資料1 東海テレビ フォロー （2025年1月17日 プリント）

資料2～5 2025年1月13日～16日 朝日新聞

資料6 2025年1月19日 朝日新聞

口頭意見陳述希望